

2020年度

| | |
|-----|-----------|
| 学科名 | 美容総合学科 |
| 専攻名 | エステティック専攻 |

| 建学の精神 | | 専攻のディプロマ・ポリシー | | | | | |
|---|----------------|--|-------|---------|-----|--------|--------------------|
| 髪、顔、装い、精神美、健康美の五大原則に基づく「美道」の追求・実践 | | 本学の教育目標は『美しく生きる力』を形成することである。よって、エステティック専攻の輩出する人材像は、具体的に以下の能力を身に付けた者である。 | | | | | |
| <p>教育目標</p> <p>本学科は美道五大原則(髪・顔・装い・精神美・健康美)に基づく美容教育と教養教育により、『美しく生きる力』を形成することを教育目標とする。『美しく生きる力』とは、課題を発見し、解決する能力すなわち自ら考え、行動し、振り返ることのできる力を備え、あらゆる他者にホスピタリティ及びコミュニケーション力を発揮できるとともに、自身のみならず他者もめきた豊かな人生を追求できる力である。</p> <p>◎エステティック専攻</p> <p>エステティック専攻は、幅広い教養と、美容知識・技術の習得を通して、課題を発見し、解決する能力を備え、人のからだの「美」について、医学、生理学、栄養学、心理学など総合的な視点でとらえることができる力、加えて国際性を兼ね備えた、エステティック産業を中心とする様々な分野で活躍できる人材を育成する。</p> | | <p>1.【知識・技能】……知識や技術を適切に運用できる能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を収集、整理し、課題を発見できる 習得した美容の知識や技能を関連づけながら他者への提供ができる 美や健康を総合的な視点で捉え、提供することができる <p>2.【思考力・判断力】……課題解決のために思考し、判断できる能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 広い視野と、思考法に基づき分析、解釈できる 根拠に基づき判断し、解決策を立てることができる <p>3.【表現力】……課題解決のために適切に表現できる能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 習得した知識や技能を基に、自分の考えを組み立て、適切に表現(記述・口述・作品等)できる 解決策を提示できる <p>4.【主体的行動力】……課題解決のための精神力、主体的に行動できる能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら率先して学ぶことができる 自己を理解し、主体的に適性や個性を生かし行動できる 失敗してもあきらめずにやり遂げることができる 社会の一員として、自覚と誇りを持って行動できる <p>5.【ホスピタリティ・コミュニケーション力】……多様な人とホスピタリティをもってコミュニケーションできる能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な状況に応じて適切な対話、討論ができる 目的達成のために、多様な人と協働できる 様々な人のニーズを把握し、おもてなしの精神を持ったサービス提供ができる | | | | | |
| <p>専攻のカリキュラム・ポリシー</p> <p>本学の教育目標は『美しく生きる力』を形成することである。エステティック専攻は、幅広い教養と、美容知識・技術の習得を通して、課題を発見し、解決する能力を備え、人のからだの「美」について、医学、生理学、栄養学、心理学など総合的な視点でとらえることができる力、加えて国際性を兼ね備えた、エステティック産業を中心とする様々な分野で活躍できる人材を育成する。そのため、以下の3つの方向性に基づきカリキュラムを編成している。</p> <p>エステティック専攻のカリキュラムは、次の3つの領域で構成する。</p> <p>1) 教養領域……伝承美や語学、心理学、社会学等の教養を身につける。</p> <p>2) 美容知識・技術領域……根拠に基づき技術を身につける。</p> <p>3) エステティック領域……心とからだの「美」を理解し、確かな手技と機器に対する正しい知識を身につける。</p> <p>上記の3領域を通して、課題を発見し、解決する能力を備え、あらゆる他者にホスピタリティ及びコミュニケーション力を発揮できる力を身につける。</p> | | <p>ディプロマ・ポリシー(DP)を達成するための「学習成果」</p> <p>(DP達成のために⇒◎=特に重要な事項、○=重要な事項、△=望ましい事項)</p> | | | | | |
| カリキュラム | | カリキュラム | | | | | |
| ナンバリング | 授業科目名 | 授業の目標 | 知識・技能 | 思考力・判断力 | 表現力 | 主体的行動力 | ホスピタリティ・コミュニケーション力 |
| BE-CS1-001 | 海外研修(アメリカ) | Students will be able to understand and practice the different types of makeup used for television, movies, stills, red carpets, characters, headshots, and contours. | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ |
| BE-CS1-002 | ゼミナール I | 短大生として必要な考え方、能力を養い、実践できる。将来の社会人として必要な能力を知り、養い、実践できる。美容業界を始め、さまざまな業界を知り、その業界で活躍するための準備ができる。 | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| BE-CS1-003 | 日本事情 I | 提示された問題について、共有し、議論することができる。講義を聞き、ノートテイキングができるようになる。日本社会についての知識を得、話し合いを通して自分の日本観を描くことができる。 | ◎ | ○ | △ | ○ | ◎ |
| BE-CS1-004 | インターンシップ | 企業等で就業体験を行うことによって、企業や業界について学び自分の進路を現実的に捉えることができる。またインターンシップ(職場体験)を通して、社会人として必要なスキルや能力を認識し、その後の学生生活で自分のすべきことを把握し、実践することができる。さらに、超高齢社会を視野に入れ、美観の視点で社会を捉えることができるようになる。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| BE-CS1-005 | 英語コミュニケーション | Aim - The goal of the class is to help students improve their English communication skills (about TOEIC score XXX level) and develop a better understanding of how to communicate in a positive way. Our focus will be on the language typically used in a hair salon - communication between a hairstylist and customer such as: how the customers wish to have their hairstyle, how they wish to care, what kind of problem they have to hair condition and how to solve it, or daily conversation. | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ |
| BE-CS1-006 | 情報リテラシー | コンピュータの概要、情報倫理、電子メールの基本ルールを理解する。Windows及びOfficeを中心としたアプリケーションの基本操作を習得できる。レポートやビジネス文書作成の手順の理解、関連する情報活用術の習得、PC/アプリケーション操作スキルの実践ができる。 | ◎ | ○ | △ | ○ | △ |
| BE-CS1-007 | 着装技術 I | 生活の中に関わる着物文化と装いを理解し、四季に応じたコーディネートや装いを表現できる。山野流美道五大原則に基づいたトータルビューティの習得と美観学の基礎を実践できる。「自分で着る、人に着せる」の着付けの基本技術を習得し、実践できる。社会人となる自分をイメージし、就職1年目から社会に貢献できる技術、マナー、日本文化の知識を習得し、実践できる。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ |
| BE-CS1-008 | マナー&ホスピタリティ | 授業を通して、真のマナーとホスピタリティとは何かを理解し、社会人基礎力を培います。具体的には、ビジネスマナーの基礎を学び、コミュニケーション力向上のため重要となる、信頼関係構築の5つのポイント(挨拶・身だしなみ・表情・言葉遣い・態度)を理解し、実践できる。 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ |
| BE-CS1-009 | ジェントロジー(USC) | 高齢者に限らず、あらゆる年齢層の人の年齢と美容の視点から理解し説明できる。美容を通して超高齢化社会において個人と公共の発展と福祉の向上に貢献できる。美容とジェントロジーを融合して美観学の基礎を習得し、職業生活に活かす知識を習得するとともにあらゆる年齢層の人のより深く理解し、行動できる。 | ◎ | ◎ | ○ | △ | ○ |
| BE-CS1-010 | サロン経営学 | 職業としての「エステティシャン」を学習することを通じて、社会人の基本知識を習得し、就職後にも役立つことができるようになる。また、サロン運営のマネジメント能力の基礎を習得してできるようになる。エステティック業界全体をイメージにとらわれず、正確に把握することで、自分に合う企業をピックアップすることができるようになる。この授業では、単に講義を聴くだけではなく、考えること、発表すること、他の人の意見を聞くことなどに主眼を置き、自ら考え、課題解決できるようになる。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ |
| BE-CS1-011 | 日本事情 II | 新聞の購読を通して、日本社会における様々な幅広い知識を身につけることができる。興味のある記事を自分で選び、自力で読むことができるようになる。 | ◎ | ○ | △ | ○ | ◎ |
| BE-CS1-012 | グローバルコミュニケーション | Aim - The goal of the class is to help students improve their English communication skills and develop a better understanding of how to communicate in a positive way. Our focus will be on the language typically used in an esthetic salon - communication between an esthetician and a client. | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ |
| BE-CS1-013 | 海外インターンシップ | 海外の企業やサロン等での現場体験を通して社会を知り、グローバルに働くために必要な知識や技術が何か理解できるようになる。日本で経験できない環境の中でチャレンジ精神を持って取り組み、英語を含めたコミュニケーション能力やホスピタリティなど社会人基礎力を身につけ、自分に合った進路選択ができるようになる。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| BE-CS1-014 | 海外研修(ヨーロッパ) | 海外の文化や習慣等に触れることによって、国際的な意識を高める。また、コミュニケーション力の大切さを知るとともに、ファッションや美容に対する学習意欲を高める。世界を知ること目指すべき目標を見つける。また、世界を知らなければ国内でも1番に成れないことを知る。 | ◎ | ○ | △ | ◎ | ◎ |
| BE-CS1-015 | 着装技術 II | サロンワークをイメージした実践学習を重ね技術者とお客様の双方の立場を理解し、技術知識共に美容着付けのプロを意識したトータルビューティを表現できるようになる。公共の技術コンテストに参加する技術が身につく、社会評価を得ることができる。学内外の国際的なイベントやポランディアに積極的に参加し、日本文化を学ぶ学生として日本の文化や着物の知識の伝達と実践を通じ社会貢献ができる。また社会人としての視野を広げ活躍できる。 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |

| カリキュラム | | | ディプロマ・ポリシー(DP)を達成するための「学習成果」 (DP達成のために◎＝特に重要な事項、○＝重要な事項、△＝望ましい事項) | | | | |
|------------|--------------|---|--|---------|-----|--------|--------------------|
| ナンバリング | 授業科目名 | 授業の目標 | 知識・技能 | 思考力・判断力 | 表現力 | 主体的行動力 | ホスピタリティ・コミュニケーション力 |
| BE-CS2-016 | ゼミナールⅡ | 自己の進路実現に必要な事項を知る。 具体的な就職活動・進学活動に必要な事項を知り、実践できる。 就職先のマナーを学ぶことにより幅広い年代への顧客対応力をつけ実践できる。 | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| BE-CS2-017 | 日本事情Ⅲ | 日本社会や日本のカルチャーに前向きな関心を持ち、よく理解し、自国との比較をした上で日本での生活に役立てることができる。 卒業後、日本で学んだり、働いたりすることを希望する留学生たちが、多文化共生社会へと転換するであろう日本社会の一員として、活躍し貢献する準備ができる。 | ◎ | ○ | △ | ○ | ◎ |
| BE-CS2-018 | 総合ブライダル学 | 婚礼(ウエディング、ブライダル)への活然としたイメージを業務内容や形式を通し細分化して学ぶことで、ウエディング、ブライダルをより明確に把握し、婚礼の意義や美容との関わりを理解し活用できる。また将来婚礼業務に関わることを想定し、接客のマナーやホスピタリティを自然に身に付け、適齢期から高齢化した婚礼においても美容の視点でお客様のための建設的な企画提案ができる。 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ |
| BE-CS2-019 | 現代社会の理解 | (1)「知るって楽しい」「考えるって面白い」と感じられるようになる (2)「もっと知りたい」「自分の頭で考えたい」と思えるようになる (3)「音楽鑑賞」「美術鑑賞」を通して「美」の鑑賞力が深まっている (4)現代社会を理解し社会で生き抜く力の必要性を理解できるようになる (5)自分の意見を述べ、他人の意見も理解し共感できるようになる (6)自文化と他文化との違いに気づき、違いを楽しめるようになる (7)現代社会で必要なコミュニケーション能力を発揮できる 多文化共生社会に必要な異文化コミュニケーション能力を発揮できる | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| BE-CS2-020 | 日本文化(茶道) | 「道・学・実」を三位一体で学ぶことを通し、美の裏方としての人間形成が図れる。中でも「和敬静寂」を学ぶことを通して、精神面の成長が図れる。 おもてなしの心を学ぶとともに、お茶の正しい点て方と頂き方を習得できる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |
| BE-CS2-021 | 日本文化(華道) | 一般教養としての日本の花道史、及び生活芸術としての華道を学び、華道の精神と技術の習得を通して美意識を高める。それと共に、自然との共生を大切にす華道精神を理解することで、人間関係を改めて見つめ直しコミュニケーション能力やホスピタリティ精神の必要性を認識し習得、できるようになる。 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |
| BE-CS2-022 | 接客・接遇法 | グローバル社会の中のサービス産業に携わる者として、即戦力の「おもてなし」ができ、気持ちの良いコミュニケーションを実践できることで、サービス産業の活性化と生産性向上に役立つ人材になるための知識習得と意識向上が目標です。企業やお客様から求められる接遇力を身につけるために、顧客満足を引き出す顧客心理を理解し、具体的な5つのポイントとなる挨拶・身だしなみ・表情・言葉遣い・態度を意識しながら、顧客対応ができるようになります。 | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ |
| BE-E1-001 | 生理解剖学Ⅰ | 系ごとの、構造と機能を理解できる。②それぞれの器官の構造と機能を理解できる。総合的に身体つくりと働きをとらえ、エステティックの施術、お客様への「ホームケアアドバイス」に活かすことができる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BE-E1-002 | 生体学 | 健康の概念について説明できる。生活習慣病およびメタボリックの疾病構造を説明できる。エネルギー代謝の原理・原則を説明できる。美容との関係を踏まえた運動・身体活動の役割とその効果について説明できる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BE-E1-003 | 生命活動概論 | 生命とは何か説明できる。ホメオスタシスとは何か説明できる。ストレスとは何か説明できる。美容との関係を踏まえてホメオスタシスやストレスを制御する仕組みについて説明できる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BE-E1-004 | 皮膚科学Ⅰ | 肌の基本的な造りと働き、加齢と季節による肌変化を理解し、エステティックの施術、お客様への「ホームケア・アドバイス」に活かすことができる。また、自身が健康で美しく生き、美しく年を重ねるために応用できる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BE-E1-005 | 化粧品学 | 化粧品に関わる法令を正しく理解し説明できるようになる。 化粧品に使用される代表的な成分とその性質を説明できるようになる。 化粧品に関する調査、資料作成、発表、質疑応答を通して、適切な表現で他者に情報提供ができるようになる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BE-E1-007 | フェイシャルエステⅠ | 本科目を履修することにより、日本エステティック協会とエステティック業協会の認定エステティシャン資格実技試験の1つであるフェイシャルマサージ手技の目的と効果を理解し、口頭試問に答えられる。肌の状態や年齢(若者から高齢者)によってどの手技が適しているかを理解し、実践できる。 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ |
| BE-E1-008 | ボディエステⅠ | 本科目を履修することにより、日本エステティック協会とエステティック業協会の認定エステティシャン資格実技試験の1つであるボディマサージ手技の目的と効果を理解し、口頭試問に答えられる。肌の状態や年齢(若者から高齢者)によってどの手技が適しているかを理解し実践することが出来るようになる。 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ |
| BE-E1-009 | 脱毛 | ワックス脱毛の基本的な知識、テクニックを学ぶ。また、脱毛を行う際についておくべき皮膚疾患や毛髪科学、衛生管理、禁忌事項を学ぶ。肌別、年齢別(若者から高齢者)においての注意点も学ぶ。 日本エステティック協会の認定エステティシャン資格実技試験の1つである「ワックス脱毛」を習得し、正しく実践できる。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E1-010 | エステティック基礎理論Ⅰ | エステティックについての概論、法規、消毒法を理解する。 特に救急法ではサロンやスパで実際に起きる事例などについて知り、高齢者や疾患を持っている方に対する対応の学びを適切に対処実践できるようになる。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E1-011 | エステティック基礎理論Ⅱ | エステティックで必要とされるカウンセリングの基礎知識を身につけ、カウンセリングでも必須である基本的な栄養学について理解し、様々な職業、年齢(若者から高齢者)、食事習慣の方へエステティシャンとしてアドバイスを実践できるようになる。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E1-012 | エステティック技術理論 | 様々な年齢(若者から高齢者)や肌に合わせてクレンジングの効果と手順を習得し、応用することが出来る。 機器を利用した場合の効果とその使用方法を習得し、応用することが出来る。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E1-013 | 皮膚科学Ⅱ | 肌の基本的なつくりと働き、加齢と季節による肌変化を理解し、エステティックの施術、お客様への「ホームケア・アドバイス」に活かすことができる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BE-E1-014 | 生理解剖学Ⅱ | 系ごとの構造と機能を理解できる。それぞれの器官の構造と機能を理解できる。総合的に身体つくりと働きをとらえ、エステティックの施術、お客様への「ホームケア・アドバイス」に活かすことができる。自身が美しく生きる、また美容の基本として活用できる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BE-E1-015 | 栄養学Ⅰ | 健康の概念について説明できる。生活習慣病およびメタボリックの疾病構造を説明できる。減量の原理・原則を説明できる。美容との関係を踏まえた栄養素の役割と作用について説明できる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| カリキュラム | | | ディプロマ・ポリシー(DP)を達成するための「学習成果」 (DP達成のために◎＝特に重要な事項、○＝重要な事項、△＝望ましい事項) | | | | |
|------------|----------------|---|--|---------|-----|--------|--------------------|
| ナンバリング | 授業科目名 | 授業の目標 | 知識・技能 | 思考力・判断力 | 表現力 | 主体的行動力 | ホスピタリティ・コミュニケーション力 |
| BE-E1-016 | フェイシャルエステⅡ | エステティシャンセンター試験において必須である皮膚の知識を実際にモデルの肌を触って学ぶことにより統一筆記試験のための基礎を作る。また年齢(若者から高齢者)や肌質の違うモデルに適したメニューを選択、決定、実践できるようにする。本科目を履修することにより、エステティシャンセンターにおける皮膚科学、実技試験における電気機器の使用や選択を習得し、応用することが出来る。 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ |
| BE-E1-017 | フェイシャルエステⅢ | カウンセリングを正確に理解することにより高齢者も含めた異年齢、生活習慣が違う、肌質が違うモデルに適したメニューを選択、決定、実行できるようにする。本科目を履修することにより、エステティシャンセンター試験における皮膚科学、実技試験における電気機器の使用や選択とフェイシャルカウンセリングを習得し実践できるようにする。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E1-018 | ボディエステⅡ | エステティシャンセンター試験において必須である皮膚の知識を実際にモデルの肌を触って学ぶことにより統一筆記試験のための基礎を作る。また年齢(若者から高齢者)や肌質の違うモデルに適したメニューを選択、決定、実行できる。本科目を履修することにより、統一試験における皮膚科学、実技試験における正しい電気機器の使用や選択を習得し、実践できる。 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ |
| BE-E1-019 | ボディエステⅢ | 資格取得に向け、高度なマッサージ技術とカウンセリング力を習得する。統一試験において必須である皮膚の知識を学ぶことにより統一筆記試験のための基礎を作る。またカウンセリングを正確に理解することにより高齢者も含めた異年齢、生活習慣が違う、肌質が違うモデルに適したメニューを選択することが出来る。本科目を履修することにより、統一試験における皮膚科学、実技試験における電気機器の使用や選択とボディカウンセリングを習得し、応用することができる。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E1-020 | エステティック基礎理論Ⅲ | エステティック基礎理論Ⅰ・Ⅱにて学んだ、法規、カウンセリング、消毒法を基に、実際にサロンにおいてはどういった行動が正しいものか理解し、実践できる。異年齢(若者や高齢者)、生活習慣の違うお客様に対し、悩みと要望を聞きだし、それに対して的確なアドバイスが実践することができる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BE-E2-021 | 心理学 | 心理学の視点から美容やコミュニケーション、ホスピタリティに関する理解を深め、日常生活や職業の実践で有用な知識を習得する。人間に共通する心のメカニズムを理解し、その性質を踏まえたうえで実生活で活用できる。エステティックなど美容にかかわる職業の実践において活用できる。心理学の知見を美容学に適用できる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | △ |
| BE-E2-022 | 栄養学Ⅱ | 正しい健康・栄養情報の収集の仕方、また自身からの情報発信の仕方を学び、より身近な、健康・栄養学知識を身につけて、トリートメントの一環として、プロとしての栄養アドバイスができるようになる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BE-E2-023 | フェイシャルエステⅣ | 今まで学んだことを基に、季節や年齢ごとの肌トラブルや、その改善のための効果的なフェイシャルエステトリートメントとそれぞれの特徴や要望になったホームケアアドバイスを学ぶ。本科目を履修することにより、上記試験における皮膚科学、実技試験における正しい手技や化粧品使用や選択を習得し、実践できる。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E2-024 | フェイシャルエステⅤ | 実技試験に対応したメイク、ネイル技術ができるようになる。本科目を履修することにより、エステティック業協会の上級認定エステティシャン資格試験科目の1つであるフェイシャルエステティックの理論及び実技が定められた通りになる。高齢者や爪のトラブルをもったモデルへの対応などを理解し、施術方法を習得してできるようになる。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E2-025 | ボディエステⅣ | AEA試験に向けたカウンセリングシート作成及びボディメイキングのための正しい機器の選択ができるようになる。本科目を履修することにより、AEAの資格実技試験に対応したボディエステティック全般を習得する。フェイシャルエステⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳで学んだことを、AEA試験対策を行うことで熟練することができる。高齢者モデルへの機器などの選択方法や対応などを理解し、施術することができる。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E2-026 | 美容学基礎演習 | 美容学の内容が説明できる。美容福祉・高齢ケアの対象が具体的に説明できる。美容福祉・高齢ケアの基本的技術が実施できる。美容福祉・高齢ケアの対象への配慮ができる。 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ○ |
| BE-E2-027 | カウンセリング | カウンセリングの理論と技法を学び、コミュニケーションやホスピタリティを実践的に展開できるようにする。そのためにカウンセリングの理論と技法を基礎から系統的に習得し、それらを用いて顧客とよりよいコミュニケーションを行うことができ、十全にニーズをくみ取る力を習得し、実践できる。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ |
| BE-E2-028 | コミュニケーション心理学 | (1)「知るって楽しい」「考えるって面白い」と感じられるようになる (2)「もっと知りたい」「自分の頭で考えたい」と思えるようになる (3)心理学を通して人間理解が深まっている (4)実践的なコミュニケーション能力の必要性を理解し、その能力を高めている (5)自分の意見を述べ、他人の意見も理解し共感できるようになる (6)現代社会に必要なコミュニケーション能力を発揮できる 多文化共生社会に必要な異文化コミュニケーション能力を発揮できる | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |
| BE-E2-029 | インナービューティ学 | 体の内側から美しくなるために必要な食や栄養、健康、運動、化粧品に関する知識を身につけて、お客様へ様々な角度からアドバイスできるようにする。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| BE-E2-030 | グローバルエステティック研究 | この科目では、より高度なフェイシャル、ネイル、メイク、ボディ、wax脱毛の実技、理論を身に付ける。また、高齢者を含む様々な年齢、肌質、体質のモデルにあわせてトリートメントプランを完成させ、アフターアドバイスも含めて実践することができる。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| BE-E2-031 | フェイシャルエステⅥ | 今まで知識、技術として定着させたものを個別に応用することができ、かつ、試験本番時に時間内で的確な判断をすることが出来るようになる。高齢者や肌質の異なる方への対応を正しく行うことができる。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E2-032 | ボディエステⅤ | AEA試験に向けたカウンセリングシート作成及びボディメイキングのための正しい機器の選択ができる。本科目を履修することにより、AEAの資格実技試験に対応したボディエステティック全般を習得することができる。本科目を履修することにより、エステティック業協会の上級認定エステティシャン資格試験科目の1つであるボディエステティック実技、理論を習得し試験に合格できる。高齢者や肌質の違うモデルへの対応などを理解し、施術方法を習得し、実践できる。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ |
| BE-E3-006 | 特別活動 | 平常の授業とは異なる講座等によって、見識を広める。振り返ることができるようになる。教育目標でもある、自ら考え、行動できるようにする。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| BE-KT1-001 | 基礎ネイル技術 | エステティシャンとしてハンド&ネイルケアの実践をおして爪に関する美学を研究し、老若男女問わず健康で美しい爪を維持するための正しい知識と技術を身につける。ネイルケアとカラーリングの基礎的な技術を適正な手順で、他者に施術できるようにする。 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |
| BE-KT1-002 | 応用ネイル技術 | ネイルの器具、用具を正しく扱うことができ、技術理論に基づいた作業ができる。年齢を問わず、お客様に合わせたネイル技術を提供できる。爪を傷やかに保つために、加齢による爪の病気を発見し、お容さまに適切なアドバイスを行うことができる。薬剤の役割とその使用方法、及び適切な手順を覚え、爪を修復することができる。 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ |

| カリキュラム | | | ディプロマ・ポリシー(DP)を達成するための「学習成果」 (DP達成のために⇒◎=特に重要な事項、○=重要な事項、△=望ましい事項) | | | | |
|------------|----------|---|---|---------|-----|--------|--------------------|
| ナンバリング | 授業科目名 | 授業の目標 | 知識・技能 | 思考力・判断力 | 表現力 | 主体的行動力 | ホスピタリティ・コミュニケーション力 |
| BE-KT2-003 | アロマセラピー | 実習を交えながら、基本的知識を身につけ、個人の日常生活、そして美容サービスとして活用できる技術を身に付けることができる。また、アロマセラピーを生かせる課題を発見し、調査・研究・発表することを通じ、研究心を養い、あらゆる課題に自信を持って対応できる。プレゼンテーション能力を習得できる。社団法人アロマ環境協会の「アロマセラピー検定1・2級試験」及び「ナチュラルビューティスタイリスト検定」に合格する能力を習得できる。 | ◎ | △ | ○ | △ | ○ |
| BE-KT2-004 | 色彩学 | 演習などを通して色彩の基礎をしっかりと学びながら、色に対する認識力や発想力、イメージ力を養うとともに、幅広い色彩感覚を身につけることにより、美容学の社である美容をはじめ、さまざまな場面で必要となる色彩に対する判断力や表現力を発揮することができるようになる。また、課題提出時に学生と教員で相互評価を行うことにより、自己を振り返り説明することができるようになる。 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | △ |
| BE-KT2-005 | メイクアップ基礎 | メイクアップの基礎知識(道具名称、日常メイク、アンチエイジングメイク、フォーマルメイクの手順)を理解し、練習の繰り返しにより技術を身につけ実践できるようになる。 | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| BE-KT2-006 | サロン実習 | エステティシャンとして、また一人の社会人として必要とされる社会人基礎力とともに、接客業に必要なホスピタリティやお客様に喜んでいただける技術や知識を身につけ、活用できる。また、実際に生活習慣や年齢(若者から高齢者)が違ふ方の肌に触ることによってその人それぞれにあった会話や施術を習得し、実際に実践の場面で応用することができる。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| BE-KT2-007 | ヘアメイクアップ | 施術される側の顔の立体感、陰影、各パーツの特徴、性格や好み、ライフスタイルを理解し、似合うメイクアップを提供できる知識、技術、経験を習得し、メイクアップを通じて施術を受ける側の満足感を与えられる技術が提供できるようになる。ヘアテクニックでは、ヘッドスパからヘアスタイルのアレンジまで幅広くヘアテクニックを学び、ヘアに関する基礎的な知識を理解し、技術を実践できる。 | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ○ |